

愉しく
仲良く
元気よく

FU TA BA
ふたば

令和5(2023)年1月30日

校長 田村 穰

Principal MINORU TAMURA

志を持ちグローバル社会で生きぬくシカゴっ子をめざして <https://chicagojs-next.edu>



REBORN 全日校

みなさま あけましておめでとうございます 2023年 卯年うさぎが始まりました。本年が、みなさまにとって、健康で飛躍の年となりますことを祈念するとともに、シカゴ双葉会全日校に在籍する子どもたち一人ひとりが輝き、確かな成長を見守れる1年となりますよう願っています。



さて、シカゴ日本人学校(シカゴ双葉会日本語学校全日校)は、このたび文部科学省プロジェクト(財団法人海外子女教育振興財団受託)の「在外教育施設の特色化教育プログラム促進事業」、通称「AG+」の研究指定を受けることになりました。期間は2022~2026年(実質は2023年度からの4年間)です。このプロジェクトは、以下の国家戦略を受けて実施されるものです。まず、令和3年6月3日策定の「在外教育施設未来戦略2030~海外の子どもの教育のあるべき姿の実現に向けて~」。次に、令和4年6月17日に公布・施行された「在外教育施設における教育の振興に関する法律」。そして、教育未来創造会議(令和4年5月10日開催)および令和4年6月7日の閣議において決定した骨太の方針と成長戦略に明記された「グローバル人材の育成」。

「AG+」は、こうした法律・戦略に基づき推進されます。プロジェクトは全部でテーマが5つあり、本校が選定されたのは研究テーマI「グローバル化3.0時代に必要な基礎的資質・能力を育成するためのプログラム開発」です。具体的には、キャリア教育を柱に、探求学習の推進・既存の交流学习や校外学習の深化・幼小連携のプログラム開発、・イマージョン教育を含むコミュニケーション能力の育成を図るプログラム開発・JSL(Japanese as a Second language)の研究などをめざします。最終的には、IB(国際バカロレア)スピリッツを念頭にした学校像の構築を目指していきたいと考えています。また、このプロジェクトでは、海外子女教育が専門である研究者(佐藤郡衛教授・渋谷真樹教授等)を中心とする8人のチームに本校をバックアップしていただきます。一方すみれ幼稚園に関しては海外在住者幼児教育の第一人者である鈴木正敏教授に様々ご尽力いただける予定にしています。



このプロジェクトを通して、海外子女教育振興財団の信念「在外で学ぶ子どもたちは、日本の将来のコモンセンスを創造する原動力である」という思いを教職員一同が共有して、未来へ向けての日本人学校の新たなモデルづくりをめざすとともに、シカゴ近郊に在住の日本人子女のみなさまにとって、「学びたい・学ばせたい学校」づくりに邁進していきたいと思っております。本年もよろしくお願ひします。

子ども達の作品





				2月			
日	月	火	水	木	金	土	日
			1 全校朝会	2 小5・6スキー教室	3 図書館ヘルプ	4	
5	6	7	8 小2交流学习 (IVY来校) 定期テスト① PTA執行部会	9 授業公開 (小3 2限) 定期テスト②	10 定期テスト③ すみれ発表会	11	
12	13 授業公開 (小2 2限・4限) PTA監査	14 クラブ 授業公開 (小5 1限) 中学部職場見学	15 縦割り集会 小2 交流学习 (IVYへ) PTA引継ぎ会	16 授業公開 (小4 2限、小6 4限)	17 授業公開 (小1 1限) 第3回英検2次 PTA常任委員会	18	
19	20 President Day	21 6年生を送る会 学校運営委員会⑥	22 シカゴ集会 教育 相談日	23 授業公開 (中学部 6限)	24	25	
26	27 卒園式練習開始	28					